

授業科目名 ( 英文名 )	社会科学概論a ( 経済学部・専門教育 科目 ) ( Introduction to Social Sciences(a) )	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	全学年・後期
担当教員	松山 直樹	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>経済学や経営学を学ぶ上で、社会科学の形成過程を歴史的な視点から考えることは重要である。本講義では、社会科学の諸分野の起源に対する理解を深めることを目的とし、社会科学における基礎概念やそれを取り巻く課題について論究する。</p> <p>本講義の到達目標は、1) 社会科学の哲学的基礎を修得すること、2) 社会科学の現状を理解し、社会科学の本質的な意義を議論できるようになること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>本講義では、最初に社会科学の形成過程の概要を紹介、次いで諸学問や大学の制度化の歴史を概観し、現代の社会科学が直面している問題点やその解決の方法の手がかりを講述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 本講義の目標や概要を説明する。</li> <li>2. 学問をする ( アリストテレス )</li> <li>3. 経験的に裏付ける ( フランシス・ベーコン )</li> <li>4. 科学の誕生 ( アイザック・ニュートン )</li> <li>5. 社会を科学する ( トマス・ホッブズ )</li> <li>6. 確認テスト ( 1 )</li> <li>7. 安定した社会をもとめて ( アダム・スミス )</li> <li>8. 最大多数の最大幸福のために ( ジェレミー・ベンサム )</li> <li>9. 民主主義の発見 ( アレクシス・ドゥ・トクヴィル )</li> <li>10. 自由について考える ( ジョン・スチュアート・ミル )</li> <li>11. 確認テスト ( 2 )</li> <li>12. 資本主義をめぐって [ 1 ] ( カール・マルクス )</li> <li>13. 資本主義をめぐって [ 2 ] ( マックス・ヴェーバー )</li> <li>14. 資本主義をめぐって [ 3 ] ( 宇沢弘文 )</li> <li>15. 本講義のまとめ</li> </ol>		
テキスト	J.S.ミル著、竹内一成訳：『大学教育について』、岩波書店。( 生協等で購入する )		
参考文献	『社会科学入門』( 岩波新書、中公新書 ) など ( 学術情報館にあり )		
成績評価の基準・方法	<p><b>成績評価の基準</b> 社会科学の形成過程を理解し、講義内で言及する学者たちの主な学問的功績を説明できる者に単位を授与する。 社会科学の哲学的基礎に関する知識、社会科学の現状に対する思考力、社会科学の本質的意義をめぐり判断力等の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p><b>成績評価の方法</b> 確認テスト ( 2回分 ) 40%、期末レポート60%を基準として、講義態度 ( 積極的な質問等 ) を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	履修にあたっては、大学で幅広く学ぶ姿勢を心がけ、実践すること。予習としての課題は課さない。しかし、十分に復習をすること。私語厳禁。		
実践的教育			
備考	講義内容に変更がある場合は、初回の講義で連絡する。		